

道 路 事 業

〈北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進〉

北海道開発については、現行の「第8期北海道総合開発計画」（平成28年3月29日閣議決定）において、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、食と観光を担う「生産空間」の維持・発展に取り組んでいます。一方、近年の自然災害の激甚化・頻発化や地球温暖化防止が重要な政策課題となっている中で、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしたグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。

道路における具体的な取組としては、「食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現」に向け、広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備や分散型国づくりを先導する交通ネットワークの整備等を推進します。また、「世界水準の観光地の形成」に向け、ドライブ観光、シニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。

近年、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「強靭で持続可能な国土の形成」に向けて、災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化、防災・通行の安全・景観の向上に資する無電柱化の推進、社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策、積雪寒冷地におけるインフラ分野のDX及びi-Construction等を推進します。

また、「ゼロカーボン北海道等の実現」に向け、道の駅を活用した次世代自動車普及促進の取組や道路照明灯のLED化等を推進します。

1 高規格道路

○広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靭性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

2 改築・防災

○災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を図るために、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を推進します。耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため、「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、道路防災対策等を推進します。

3 無電柱化

○道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、新設電柱の抑制及び無電柱化のスピードアップを図ります。

4 交通安全対策

○事故多発区間での事故データを用いた分析や、ビッグデータを活用した潜在的な危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン*を推進するとともに、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組。

5 維持修繕

○近年の激甚化・頻発化する災害に対応すべく、「防災・災害、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、河川隣接構造物の流出防止対策や道路法面・盛土対策等を推進します。

○道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○管内には、事前に規制の基準を定め通行規制を行う「通行規制区間」と道路巡回などで危険が想定される場合に事前通行規制を行う「特殊通行規制区間」が合計4箇所あります。通行規制時には迅速な情報提供により道路利用者の安全を確保します。

6 道の駅

○「道の駅」制度が始まってから30年が経過しており、現在は「地方創生・観光を加速する拠点」として新たなステージに取り組んでいます。地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るために、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約するなど地域の拠点づくりを支援していきます。また、「道の駅」の交通結節点化や防災拠点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進します。

7 サイクルツーリズム

○世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の改善、サイクリストの受入環境の改善、情報発信および地域独自の取組など、官民一体となって推進します。

道路事業の概要

事業内容	主要事業
高規格道路	E5 北海道縦貫自動車道 七飯～大沼
改築・防災	国道227号 渡島中山防災（令和5年度開通予定） 国道228号 白神防災（令和5年度新規事業化） 国道229号 冷水橋架替、乙部防災 国道278号 尾札部道路
交通安全対策	国道5号 宿野辺付加車線整備、駒ヶ岳中央帯整備 国道227号 厚沢部鶴交差点改良 国道228号 かもめ島入口交差点改良（令和5年度新規事業化） 国道230号 神丘視距改良 国道277号 鉛川視距改良
無電柱化	国道5号 函館若松電線共同溝（令和5年度新規事業化）、赤松街道電線共同溝 国道278号 函館駅前通電線共同溝 国道279号 十字街電線共同溝
維持修繕	河川隣接構造物の流失防止対策 道路施設の老朽化対策 道路法面・盛土の土砂災害防止対策 等



渡島中山防災 新中山トンネル貫通



尾札部道路の整備状況
(令和5年3月25日延長0.5km部分開通)



角型多条電線管による低コスト化



防護柵整備による安全な通行の確保



橋梁点検車を使用した橋梁点検



道の駅 あっさぶ(リニューアル)